



開校式を行いお米作りを学びました！



(ぎふ田んぼの学校活動事業)

農地は、食料生産を担うだけでなく、生態系の保全や気候の緩和など、様々な役割があり、農村地域の生活環境の形成にもつながっています。一方で、農業生産の現場では、若者の農業離れ等に伴う農業従事者の減少と高齢化の進展により農地の適切な維持管理がますます困難となってきました。

このため、県では将来を担う子ども達に田植えや稲刈り体験を通して、農業の大切さ、農村の持つ多面的機能の大切さ、農地の役割や歴史を伝え、農地に対する関心を深めるとともに農地の適正な管理への理解を深めることを目的に、「田んぼの学校活動事業」を実施しています。

今年度、下呂市立竹原小学校5年生児童32人を対象に、田んぼの学校開校式及びお米作りについて事前授業を開催しました。

記

1. 日 時 平成31年4月23日(木) 10:25～11:10
2. 場 所 下呂市宮地600番地 下呂市立竹原小学校
3. 内 容 ①開校式・あいさつ
②地域活動の話
③竹原かるたの紹介
④お米の作り方
⑤観察ノートの使い方
⑥児童の感想発表
4. 参加者 下呂市立竹原小学校5年生児童・・・32人
学校の先生・・・・・・・・・・・・・・1人
ふるさと水と土指導員・・・・・・・・・・1人
地域住民・・・・・・・・・・・・・・1人
下呂市役所職員・・・・・・・・・・・・・・1人
下呂農林事務所職員・・・・・・・・・・・・3人 合計39人
5. 主 催 岐阜県下呂農林事務所 農地整備課
6. 協 力 ふるさと水と土指導員、地域住民、下呂市
7. その他 今後、5月に田植え、9月に稲刈りを実施する予定

○開校式・あいさつ



○竹原かるたの紹介



○お米の作り方を説明



○観察ノートの使い方を説明

